

# THE RECORD

2006.08  
No.561



## ファイル交換ソフト利用実態調査報告

Focus : 平成18年度の早稲田大学寄付講座を終えて

2006年上半期生産実績まとまる

社団法人 日本レコード協会

**RIA**  
Recording Industry Association of Japan

# ファイル交換ソフト 利用実態調査報告

社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会 (ACCS)と当協会は、音楽・映像・ソフトウェア産業に影響を及ぼす「ファイル交換ソフトの利用実態」について、毎年調査を実施しています。ブロードバンド環境の拡大を背景に、今回新たに8つの企業・団体を加え、同調査を本年6月に実施しました。7月に発表した報告書のポイントをご紹介します。

■参加団体・企業一覧：社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会、社団法人日本レコード協会、社団法人日本音楽著作権協会、株式会社日本国際映画著作権協会、株式会社テレビ朝日、株式会社テレビ東京、株式会社東京放送、日本テレビ放送網株式会社、日本放送協会、株式会社フジテレビジョン

■調査概要報告書の入手を希望される方は、当協会ホームページ (URL: <http://www.riaj.or.jp>) からダウンロードしていただくか、当協会広報部までお問合せください。

## Contents

Special Feature	
ファイル交換ソフト利用実態調査報告 .....	1
Focus：平成18年度の早稲田大学寄付講座を終えて ...	7
2006年上半年生産実績まとまる .....	8
Topics & Information .....	9
RIAJ Essay：	
音楽配信に思うライフスタイルの変化について .....	11
Monthly Production Report .....	12
今月の数字.....	13
Gold Album+...認定 .....	14



## 回答者の属性

### ■ 性別・年代別 (男:女=57.8:42.2)

	全体	10代	20代	30代	40代	50代以上
全体	18,596	301	2,399	6,654	5,798	3,444
	100.0	1.6	12.9	35.8	31.2	18.5
男性	10,748	105	954	3,317	3,780	2,592
	100.0	1.0	8.9	30.9	35.2	24.1
女性	7,848	196	1,445	3,337	2,018	852
	100.0	2.5	18.4	42.5	25.7	10.9

### ■ 職業別

	全体	学生	会社員	自営業	企業経営者	自由業	公務員	アルバイト・パート	家事手伝い	主婦/専業	主婦/仕事あり	その他職業	無職
全体	18,596	665	8,384	1,451	449	639	764	1,645	89	2,618	526	1,188	178
	100.0	3.6	45.1	7.8	2.4	3.4	4.1	8.8	0.5	14.1	2.8	6.4	1.0
男性	10,748	316	6,315	1,209	392	453	661	412	15	0	0	875	100
	100.0	2.9	58.8	11.2	3.6	4.2	6.1	3.8	0.1	0	0	8.1	0.9
女性	7,848	349	2,069	242	57	186	103	1,233	74	2,618	526	313	78
	100.0	4.4	26.4	3.1	0.7	2.4	1.3	15.7	0.9	33.4	6.7	4.0	1.0

上段:実数(人) 下段:構成比(%)

### 調査方法

調査形式: アンケート調査  
(インターネット上のWEBアンケートサイトを利用)

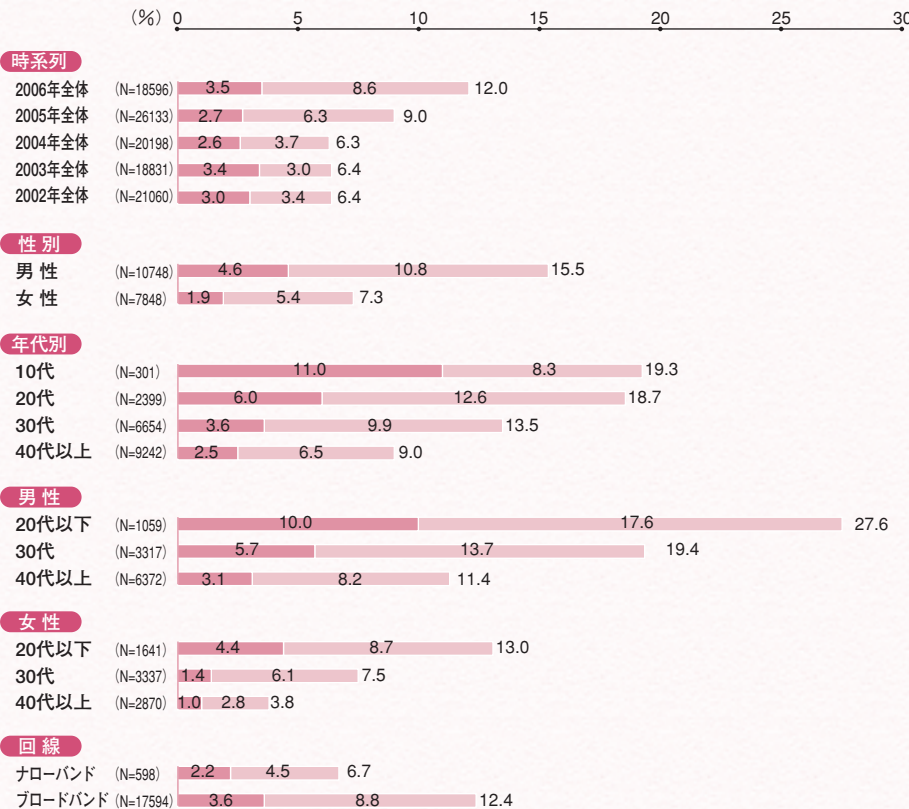
実施期間: 2006年6月13日(火)~18日(日)

有効回収数: 18,596人

## SEARCH 1

### ファイル交換ソフトの利用率とその変化は?

#### インターネットユーザーの12.0%が、ファイル交換ソフトの利用を経験



インターネットユーザーの3.5%がファイル交換ソフトを「現在利用」し、「過去に利用」8.6%を合わせると、インターネットユーザーの12.0%がファイル交換ソフトの利用経験を有します。「現在利用」「過去に利用」とも過去最高で、利用経験率は初めて10%を超えました。利用率は、女性よりも男性が高く、また男女とも若年層ほど高い傾向にあります。特に男性の20代以下は現在利用が10%に達している動きに今後も注意が必要です。回線別では、ブロードバンドユーザーの方が、利用率は高くなっています。

SEARCH 2

利用されているファイル交換ソフトは？

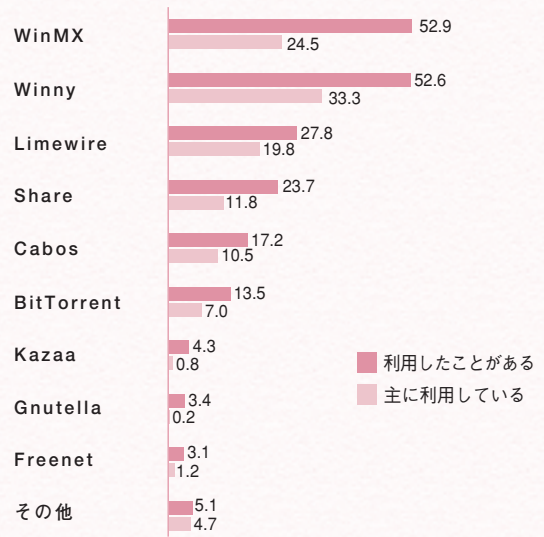
現在利用者の主な利用ソフトではWinnyがトップ、初出のLimewireも急拡大

現在利用者が今までに利用したことがあるファイル交換ソフトは「WinMX」52.9%、「Winny」52.6%でほぼ同率で並んでいます。また、主に利用しているソフトでは、「Winny」33.3%（2005年調査33.2%）、「WinMX」24.5%（2005年調査54.8%）、「Limewire」19.8%（2005年調査データなし）の順となりました。

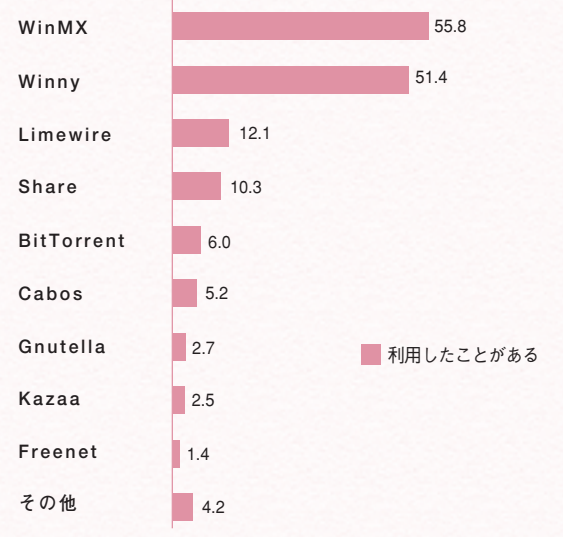
過去利用者のこれまでに利用経験のあるファイル交換ソフトは、「WinMX」が「Winny」を若干上回り、利用率は、両ソフトとも現在利用者とはほぼ同レベルです。

現在利用者 (N=645) (%)

過去利用者 (N=1590) (%)



	2005	2004	2003	2002
WinMX	69.8	73.2	82.4	83.9
Winny	49.8	48.0	22.8	—
Limewire	—	—	—	—
Share	—	—	—	—
Cabos	—	—	—	—
BitTorrent	—	—	—	—
Kazaa	—	—	—	—
Gnutella	5.8	5.6	3.8	10.3
Freenet	6.4	7.3	11.9	14.4
その他	4.8	5.4	6.4	9.7

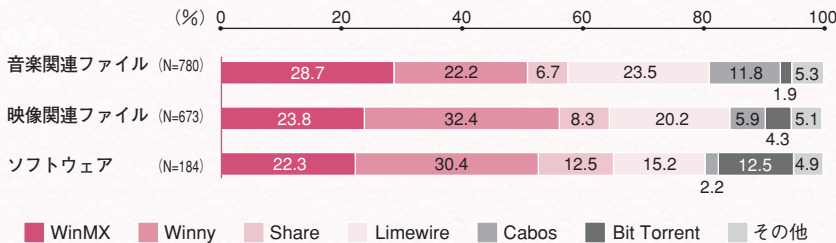


現在利用者の「利用したことがある」比率

SEARCH 3

ダウンロードに利用されたファイル交換ソフトの種類は？

音楽関連ファイルでは「WinMX」が最多を続け、初出の「Limewire」が2位



音楽関連ファイルでは、28.7%を占める「WinMX」が最も多く、「Limewire」が「Winny」を抑えて2位となっています。映像関連ファイルやソフトウェアでは、「Winny」の利用がトップで、次いで「WinMX」。これに続くのが「Limewire」で、2つのジャンルでともに3位に入りました。

ファイル交換の対象とされたコンテンツの種類は？

連続最多ダウンロードの「音楽関連」に、僅差で迫る「映像関連」

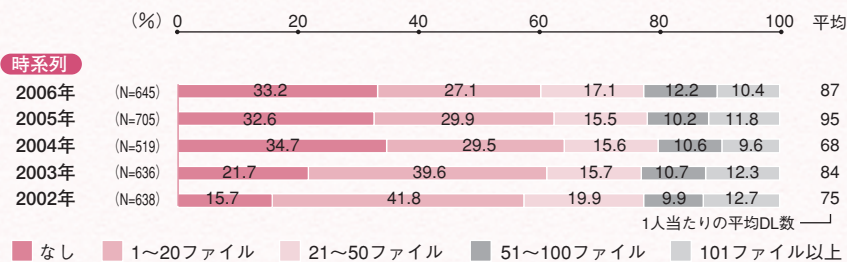
		音楽関連 ファイル	映像関連 ファイル	ソフト ウェア	写真・画像 関連ファイル	文書関連 ファイル
(%)						
全体 (N=2235)		65.1	59.1	15.2	13.5	8.5
現在利用者 (N=645)		69.1	67.0	19.5	15.0	13.0
過去利用者 (N=1590)		63.4	55.8	13.4	12.8	6.6
現在 利用 者	性別					
	男性 (N=496)	65.5	70.0	21.8	17.7	12.5
	女性 (N=149)	81.2	57.0	12.1	6.0	14.8
	ダウンロード数					
	100ファイル以下 (N=443)	61.9	56.7	14.2	8.6	8.8
	101ファイル以上 (N=202)	85.1	89.6	31.2	29.2	22.3
共有経験						
あり (N=210)	79.5	76.2	21.9	20.0	13.8	
なし (N=435)	64.1	62.5	18.4	12.6	12.6	

ダウンロード(以下:DL)をしたことがあるファイルのジャンルは現在利用者、過去利用者とも前回調査同様「音楽関連」が最も多く、「映像関連」が僅差で次いでいます。現在利用者の性別では、女性は「音楽関連」のDL経験が81.2%と特に高くなっていますが、男性は「映像関連」が「音楽関連」をわずかに上回ります。DL数別に見ると、各ジャンルとも101ファイル以上のユーザーについて、DL経験率の高さが際立ってきます。

音楽ファイルのダウンロード数は？

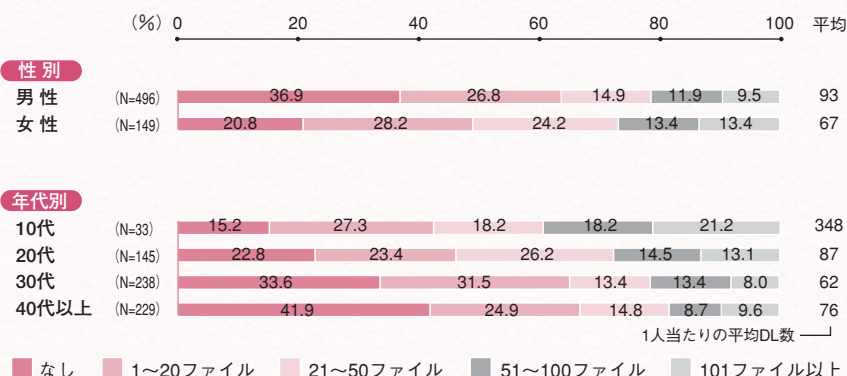
現在利用者の音楽ファイルのダウンロード経験は、約7割の高水準を維持

■ 現在利用者による音楽ファイルダウンロード数の推移



※2004～2006年は「過去1年間に」DLした音楽関連ファイル数。他は「これまでに」DLした音楽関連ファイル総数

■ 音楽ファイルダウンロード経験率



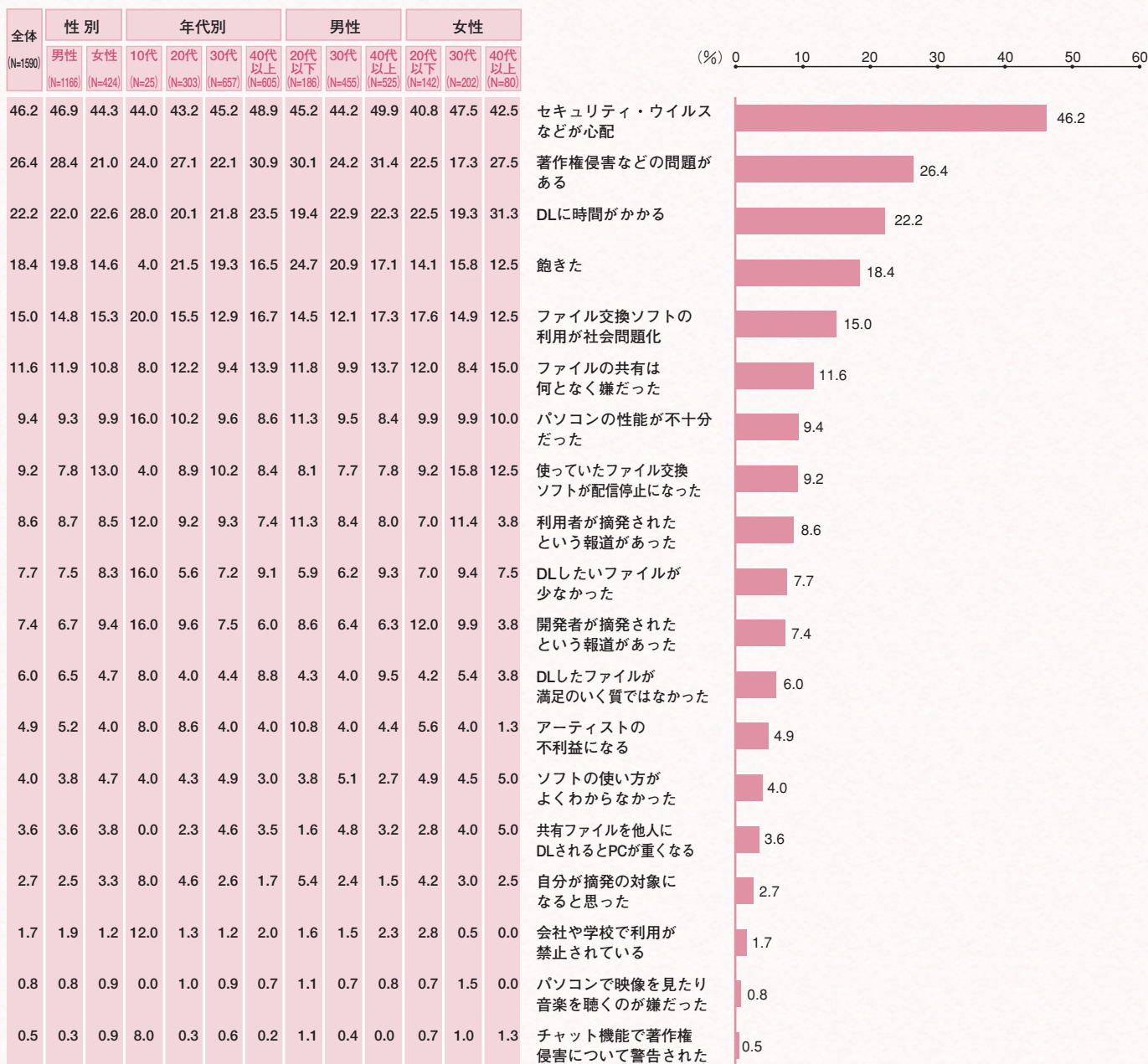
ファイル交換ソフトを現在利用している人の約7割が、過去1年間に音楽ファイルのDL経験があり、現在利用者の平均ファイル数は87ファイルで、2005年調査をやや下回りました。性別で見ると、DL経験率は、女性で79.2%を占めているのに対し、男性は63.1%にとどまっています。しかし、DL音楽ファイル数の平均では男性の方が上回っています。年代別では、DLしたファイル数の平均で10代が突出し、男女ともDL経験率は20代以下が最も高くなっています。

SEARCH 6

ファイル交換ソフトの利用をやめた理由は？(過去利用者)

ファイル交換ソフト利用の主な抑制要因は、セキュリティ・ウイルスへの不安

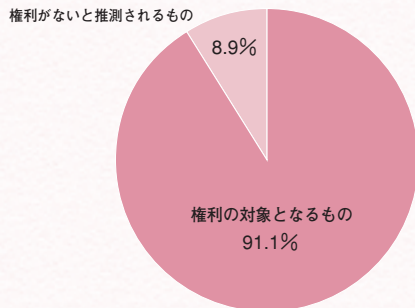
「過去に利用」した人に、ファイル交換ソフトの利用をやめた理由を尋ねたところ、「セキュリティ・ウイルスなどが心配」(2005年調査30.5%→今回調査46.2%)が比率を大きく伸ばし、前回トップの「著作権侵害などの問題がある」(2005年調査31.3%→今回調査26.4%)を大きく上回りました。なお、「セキュリティ・ウイルスなどが心配」は、性別、年代別のいずれの層でも最大の理由となっています。



## SEARCH 7

### ファイル交換の対象となったファイルの権利の有無は？

約9割を占める権利の対象となる音楽ファイルの比率が、さらに拡大



本調査では、最近DLした音楽ファイル名(アーティスト名を含む)を3ファイルまで具体的に記載してもらいました。ファイル名から推定されるコンテンツについて、著作権等の「権利の対象となる」と推定されるものと「権利がない」と推定されるもの(「不明なもの」を含む)の割合は右グラフのようになっていきます。

※ 「権利の対象となるもの」は、「権利の対象であり、かつ権利者の許諾がないと推定されるもの」であり、「権利がないもの」とは、「権利がないと推定されるもの」又は「権利の有無または権利者の許諾の有無が不明なもの」を意味しています。

## SEARCH 8

### ファイル交換ソフトの今後の利用意向は？(過去利用者)

過去利用者の3割弱が今後の利用意向を示す一方、利用を避けたい層は4割以上へ増加



過去利用者に今後の利用意向を尋ねたところ、5.6%が「また利用したい」、23.1%が「機会があれば利用したい」と考え、3割弱が現在利用していないに関わらず今後の利用意向を有しています。しかし2005年調査からは大幅に減少し、これまでで最も低い比率となりました。一方、「あまり利用したくない」「利用したくない」の非利用意向層は4割以上と大きく増加しました。性別による差はあまり見られず、年代別では、男女とも40代以上で利用意向者の比率が最も低くなっています。

当協会では、関係音楽団体等とも協力し、2002年より音楽の不正アップロードを防止するための著作権啓発キャンペーン等さまざまな活動を展開しております。本調査でもSEARCH6の様にその効果が見受けられる面もありますが、今後も粘り強く取り組みを継続して参ります。

## Focus 平成18年度の早稲田大学寄付講座を終えて

当協会では、平成16年度より早稲田大学のオープン教育センターに「コンテンツ・ビジネスと著作権」の講座を寄付しています。16年度と17年度は、それぞれ1年間のプログラムで、前期に音楽ビジネス、後期に音楽以外のコンテンツ・ビジネスについて、各分野の第一線で活躍する実務者を講師に招き、オムニバス形式の講義を行いました。平成18年度は、音楽ビジネスに特化して前期講座のみ行われ、7月6日の講義を最後に無事終了しました。

3年間の受講学生数は延べ1,000名を超え、人気講座として定着しました。法学部の鎌田薫、高林龍両教授を中心に、非常に高いレベルの講師陣がコーディネーターとして講座全体をサポートし、講演内容について学生に適切な解説、アドバイスが行われ、内容の濃い講座となっています。講座のなかで、質疑応答の時間を設けていますが、受講生か

らは毎回、講師に質の高い質問が投げかけられていました。当日の授業だけではなくそれまでの授業の内容を踏まえた質問から、メディアを通じて自らが得た知識に基づく質問まで、柔軟で幅広い内容が特徴的です。時間内に質問できなかった学生が、教室の外で講師に質問する姿もしばしば見られました。毎回講義終了後には、受講者から講師への感想が大学事務局を経て送付されますが、そこでも熱心な学習の成果が窺えました。また、各トピックに興味のある会員社の管理部門のスタッフも、大学側の特別な配慮によって、講義を聴講する機会を得られました。

3年間を通じて、休講も講師変更も一度もなかったことについては、多忙な中、講演をご快諾下さった講師の皆様のご尽力に大変感謝しています。



平成16年第1回講義での鎌田教授によるオリエンテーション

### <早稲田大学オープン教育センターとは>

学部の垣根を越え、キャンパスの枠を乗り越えた「オープンな教育機関」として5年前に設立されました。学外と連携した有機的な学習の場を提供するだけでなく、学部横断型ゼミ形式授業、少数言語学プログラムおよび他大学との交流などを通して、1000以上の科目を実施しています。

当協会の寄付講座の履修者も全11学部にわたり、それぞれが異なる問題意識と興味を持って授業に臨み、多面的で広がりのある交流の場となっています。

## 熱心な聴講に強い印象を受ける

前田 哲男

当協会の顧問弁護士、前田哲男先生は、平成16年度から平成18年度まで3期にわたり、「コンテンツビジネスと著作権」講座で訴訟事例の講義を担当されました。前田先生から、これまでの講義についての感想をお寄せいただきましたので、ここに紹介します。

職業柄、いろいろな方のお話をさせていただく機会が多いのですが、本講座では、多数の学生が本当に熱心に講義を聴いているという手応えを、とりわけ強く感じます。

私が担当した講義のテーマは紛争事例です。受講対象が全学部・全学年を網羅していますから、法律になじみのない学生も興味を持って講義を聴いてもらえるように、具体的な講義を心がけました。授業中、著作物盗作の判例を説明するために、裁判で争われた楽曲や絵を実際に提示して、類似しているか否かについて学生に問いかけました。一般的に、質問に対していつも反応があるとは限りません。しかし、この講座では、ほとんどの学生が手を上げて反応を示してくれました。それが強く印象に残っています。

学生からの質問では、エンターテインメントへの関心の強さが感じられる専門的な内容が多く、熱意を感じました。本講座を受講することで、一人でも多くの学生が、身近な法律を考え直し、エンターテインメント・ビジネスにより深い興味を示すきっかけをつかんでほしいと考えながら、講義を続けてきました。

この講座は「オープン教育センター」で行われており、早稲田大学提携大学の学生も講義に参加していました。早稲田大学の学生に負けず、熱心に講義を聴き、質問する他大学の学生の姿も見受けました。このように、複数大学の学生が同じ授業に出席し、通常の授業では得られない良い刺激を与えあうことも、大学の新しい取り組みとして意義深いことだろうと思います。



前田哲男(まえだ てつお)

1987年弁護士登録。以後、映像、レコード、ゲームソフト、ソフトウェア、書籍等の著作権関係を中心とする法律事務に携わる。現在、当協会顧問弁護士を務めるほか、文化審議会著作権分科会専門委員、(社)コンピューターソフトウェア著作権協会理事、不正商品対策協議会監事、(社)映画産業団体連合会監事などを兼任。



# 2006年上半期生産実績まとめ

当協会加盟全社集計による2006年上半期のレコード生産実績がまとまりました。

2006年上半期（1-6月）の音楽ソフト合計は、数量で前年同期比108%の1億6,603万枚、金額で同104%の1,937億円と、金額・数量共に昨年同期に引き続き、前年同期を上回りました。

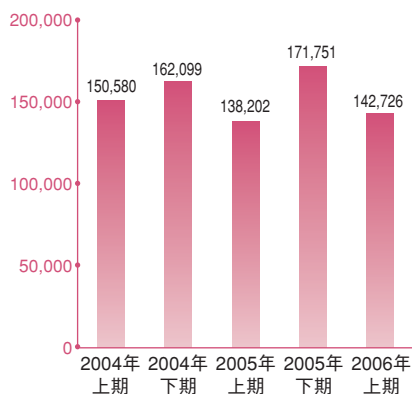
このうち、オーディオレコードは、数量で前年同期比103%の1億4,273万枚、金額で同102%の1,669億円となり、また、音楽ビデオは、数量で前年同期比147%の2,330万枚、金額で前年同期比116%268億円となりました。

(数量：千枚・巻／金額：百万円)

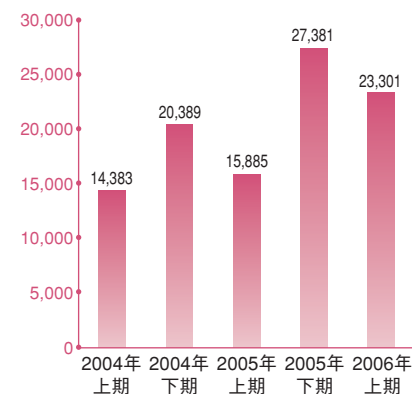
		オーディオレコード			音楽ビデオ			音楽ソフト			
		邦	洋	計	邦	洋	計	邦	洋	計	
2004年	上期	数量	113,788	36,793	150,580	11,973	2,410	14,383	125,760	39,203	164,964
		前年同期比	99%	100%	100%	103%	102%	103%	100%	101%	100%
		金額	127,395	49,187	176,583	19,542	4,756	24,298	146,937	53,944	200,881
	下期	数量	120,265	41,834	162,099	16,408	3,980	20,389	136,673	45,815	182,488
		前年同期比	88%	103%	91%	108%	131%	112%	90%	105%	93%
		金額	145,711	55,076	200,786	23,251	6,351	29,602	168,962	61,426	230,388
2005年	上期	数量	100,564	37,638	138,202	13,522	2,364	15,885	114,085	40,002	154,087
		前年同期比	88%	102%	92%	113%	98%	110%	91%	102%	93%
		金額	116,988	46,508	163,496	19,432	3,784	23,216	136,420	50,292	186,712
下期	数量	127,634	44,116	171,751	23,549	3,832	27,381	151,183	47,948	199,132	
	前年同期比	106%	105%	106%	144%	96%	134%	111%	105%	109%	
	金額	154,804	48,937	203,741	25,670	6,087	31,757	180,474	55,024	235,498	
2006年	上期	数量	103,844	38,882	142,726	20,997	2,303	23,301	124,841	41,186	166,027
		前年同期比	103%	103%	103%	155%	97%	147%	109%	103%	108%
		金額	123,752	43,108	166,860	23,094	3,730	26,823	146,846	46,837	193,683
		前年同期比	106%	93%	102%	119%	99%	116%	108%	93%	104%

## 数量（千枚）

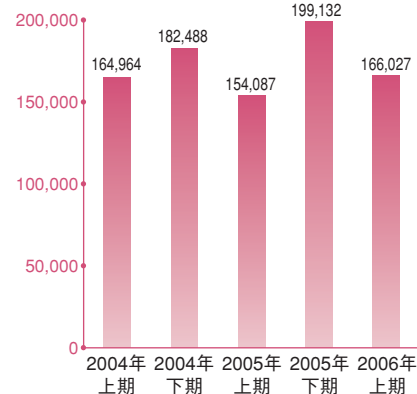
●オーディオレコード



●音楽ビデオ



●音楽ソフト

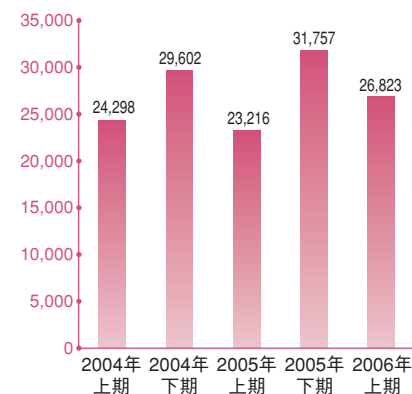


## 金額（百万円）

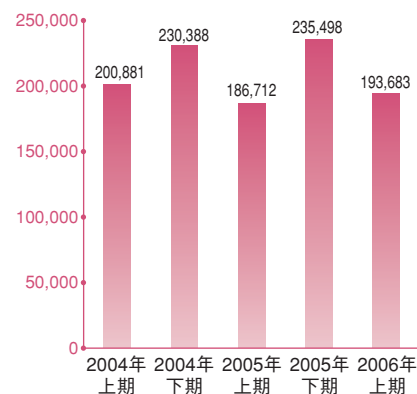
●オーディオレコード



●音楽ビデオ



●音楽ソフト



# Topics & Information

## 有料音楽配信実績によるチャート・認定 秋から公表開始

昨年8月に、当協会が有料音楽配信売上実績の公表を開始して以来、有料音楽配信マーケットは引き続き好調に推移しています。音楽配信とパッケージ市場の更なる発展を支援するため、今秋、新たに音楽配信のチャートと認定の公表を開始します。

### 1. 新規公表データ:

- (1) 着うた(携帯電話)月間チャート(上位100位)
- (2) 着うた、着うたフル(携帯電話)および、パソコン(PC)ダウンロード(DL)の認定\*

### 2. 公表開始時期:今秋

※認定の基準は下記の通りです。

#### 1. 着うた

- ダブル・プラチナ/50万ダウンロード(DL)以上
- トリプル・プラチナ/75万DL以上
- ミリオン/100万DL以上、以降100万毎に賞を設定。

#### 2. 着うたフル、PC配信(シングル、アルバム)

- ゴールド/10万DL以上
- プラチナ/25万DL以上
- ダブル・プラチナ/50万DL以上

以降、着うたと同じ。

## VIPO、KOCCAと業務提携覚書締結

NPO法人 映像産業振興機構(VIPO)と韓国文化コンテンツ振興院(KOCCA)は、7月27日、韓国ソウル・KOCCA本部において、日韓両国のアニメーション、音楽、コンピュータゲームなどのコンテンツ産業の振興と相互協力関係の強化を目的として、業務提携覚書締結の調印を行いました。

調印式には、調印者としてVIPO迫本淳一理事長およびKOCCA徐炳文(ソ・ビュンムン)院長が出席しました。また、VIPO側からVIPO理事・当協会佐藤修会長、同じくVIPO理事・有限責任中間法人日本動画協会松谷孝征理事長および文部科学省・大臣官房寺脇研広報調整官、KOCCA側から崔永昊(チェ・ヨンホ)戦略企画本部長、金相顯(キム・サンヒョン)日本事務所長らが同席しました。

両団体は、相互利益のために協力関係を維持し、コンテンツ産業の様々な分野での交流が活発化するよう、情報交換、人材

育成、セミナー等を行なっていくこととしています。今回の業務提携による最初の事業として、10月に開催される「TIFF-COM2006～東京国際映画祭併設マーケット」において両団体が企画する「日韓映像産業セミナー(仮称)」を実施する予定です。



調印式の様子

## コンテンツ・ポータルサイト運営協議会設立

8月2日、東京・千代田区の経団連会館において、「コンテンツ・ポータルサイト(仮称)運営協議会」設立総会が開催され、当協会会長でもある佐藤修ポニーキャニオン代表取締役会長が本協議会の会長に選任されました。

この協議会は、ジャパン・ブランドの発信やコンテンツの利活用の促進を通じて、我が国経済社会の発展に寄与すべく設立されたものです。このポータルサイトの構築・運営を通じて、コンテンツ関係団体・企業の協力と、政府の政策・施策等を有機的に組み合わせ、官民一体となって、ジャパン・コンテンツに関わる情報の収集、体系化、国内外への発信等に関する事業を行うもので、当協会も会員として参画する予定です。

「知的財産推進計画2006」においても、「国内外の利用者がわが国のコンテンツに関する情報に円滑にアクセスできるよう、関係者が協力して権利の所在情報等を提供できる体制を充実するとともに、2006年度中に、コンテンツ・ポータルサイトの創設に向けた支援を行う」と記されておりますが、このポータルサイトは、我が国で創造された優良なコンテンツに関わる基本情報を内外に向けて発信するための情報検索サイトとなるものです。

なお、ポータルサイトは、2006年度中にテスト運用を開始し、2007年4月のオープンを予定しています。

## 海賊版ネットオークション販売摘発の大阪府南警察署に感謝状を贈呈

7月28日、当協会は大阪府南警察署を訪問し、同署によるインターネットオークションを利用した著作権侵害の刑事告発について、感謝状を贈呈し、感謝の意を表しました。

本事件は、2年以上前からアーティストのビデオクリップ数本を権利者に無断で1枚のDVD-Rに編集・収録し、その海賊版DVD-Rをインターネットオークションで継続的に多数出品、市販価格の1/3～1/4で販売していたものです。被疑者は、身元が特定されないよう大阪や福岡などのビジネスホテルを転々として、販売を継続するなど捜査をかく乱させる悪質な行為を繰り返していましたが、大阪府南警察署によって5月31日に著作権法違反の疑いで逮捕されました。

この日、当協会業務部係長の米内が南警察署を訪問し、森池成好署長に感謝状を贈呈し、南警察署の積極的な捜査が適切な権利保護の実現に結びついたと謝辞を述べました。これを受けて森池署長からは、多発する著作権の権利侵害事件に今後も積極的な取締を展開していく旨の方針が表明されました。



感謝状贈呈の様子

## 東京国際センターで著作権制度整備Ⅱの研修を開催

独立行政法人国際協力機構（JICA）の東京国際センターで、著作権制度整備Ⅱの研修が6月25日から7月15日まで開催されました。

この研修は、JICAが海外の政府関係者や著作権業務に携わる方々に対し、日本の著作権制度の概要や管理システムなどの実務について、文化庁や著作権関係団体などから講師を招いて毎年実施しているものです。

今年度は、バングラディッシュ、中華人民共和国、インドネシア、ミャンマー、メキシコ、パナマから6名の政府関係者が本研修に参加しました。当協会は7月10日、広報部係長の高山が「レコード製作者の権利と日本のレコード産業」について講演を行いました。

## IFPI、海賊版レポート2006を発表

IFPI（国際レコード産業連盟）は7月末、「海賊版レポート2006」を発表しました。同レポートの概要は、IFPIのホームページでご覧いただけます。

(<http://www.ifpi.org/site-content/press/20060727a.html>)

## 当協会委員会委員長の交替について

当協会は、協会事業に関する重要事項についての施策の検討、推進を目的として現在8つの委員会を設置しています。理事の変更に伴い、6月30日の理事会で以下の委員長交替が承認されました。

### 委員長変更

#### ■広報委員会

[新任] 小池武久(キングレコード(株)代表取締役社長)

[退任] 堂山昌司(東芝EMI(株)代表取締役社長兼CEO)

#### ■日本ゴールドディスク大賞委員会

[新任] 堂山昌司(東芝EMI(株)代表取締役社長兼CEO)

[退任] 飯田久彦((株)ティチクエンタテインメント代表取締役会長)

### 当協会理事・監事変更

#### ■理事

[新任] 西山千秋((株)ティチクエンタテインメント代表取締役社長)

[退任] 飯田久彦((株)ティチクエンタテインメント代表取締役会長)

#### ■監事

[新任] 気賀純夫(ジェネオン エンタテインメント(株)代表取締役社長)

[退任] 荒井善清(ジェネオン エンタテインメント(株)代表取締役)

## 会員社のお知らせ

### ■代表者変更（6月6日付）

株式会社ヤマハミュージックコミュニケーションズ

[新任] 代表取締役社長 長谷川彰介

[退任] 代表取締役社長 烏野隆弘

## ■代表者変更（6月15日付）

株式会社ティチクエンタテインメント

[退任] 代表取締役会長 飯田久彦

## ■代表者変更（6月27日付）

ジェネオン エンタテインメント株式会社

[退任] 代表取締役 荒井善清

## 関係団体のお知らせ

### ■事務所移転（7月3日付）

実演家著作隣接権センター（CPRA）

新住所：〒163-1466 東京都新宿区西新宿3-20-2

東京オペラシティタワー11F

TEL： 03-3379-3571（代表）

FAX： 03-3379-3589（代表）

## ● 2006年7月会議メモ

- 7・5 マーケティング委員会
- 7・6 日本ゴールドディスク大賞委員会
- 7・10 レコード倫理審査会
- 7・11 法制委員会
- 7・12 私的録音委員会
- 7・13 広報委員会
- 7・14 情報・技術委員会
- 7・18 アジア音楽市場拡大委員会
- 7・20 レンタルレコード委員会
- 7・21 執行委員会
- 7・27 二次使用料委員会  
日本ゴールドディスク大賞委員会
- 7・28 理事会

# RIA Essay

## ■ 音楽配信に思うライフスタイルの変化について

エイベックス・マーケティング・コミュニケーションズ株式会社 代表取締役副会長 笠神 寛

先日、有料音楽配信数の集計で、弊社の「恋のマイアヒ」～O-ZONE～が400万ダウンロードを達成しました。日本の総人口126,258(千人)の内15才～34才位を利用者層と推定すると31,532(千人)となり、単純に計算すると7、6人に1人がダウンロードしていることになります。その急速な浸透に驚かされるのと同時に、ユーザーは音楽をそれぞれの状況に合わせて手軽に入手し、好きな所で、好きな時間に、好きな音楽を楽しんでいる、そんなライフスタイルが定着しつつある様に思われます。

日進月歩のテクノロジーの進歩と取り巻く環境の変化の中で、ユーザーの意識や欲求も変わっていきます。私たちも素朴なユーザー視点から、素直に、在りのままのマーケットを見つめ直す事が必要だと改め

て感じました。

話は変わりますが、新聞に「携帯電話で通話した相手が自分にどんな気持ちを抱いているか、すぐに分析してくれる“夢”の様なサービスが登場した」と載っていました。

なんでも、イスラエルの音声技術会社が治安維持用に開発した心理分析の技術を民生用に応用したソフトウェアで、その分析精度は相当なものだそうです。テクノロジーの進歩は私たちの生活を豊かにしてくれますが、時には不都合ももたらすようです。

こんな技術が使われ出したら、おちおち電話なんか出来なくなります。今から不得手なメールをマスターするつもりであります。

# Monthly Production Report

## 2006年6月度レコード生産実績

6月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)生産実績は、数量で前年同月比83%の2,719万枚・巻、金額で同84%の322億円となりました。このうち、オーディオレコードは、数量で前年同月比79%の2,364万枚・巻、金額で同81%の276億円となりました。また、音楽ビデオは、数量で前年同月比131%の355万枚・巻、金額で同106%の46億円となりました。

### ● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

			6月実績						2006年(1月~6月)累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
シン	8cmCD	邦	50	0	27%	13	0	61%	580	0	68%	100	0	69%
		洋	8	0	51%	3	0	197%	38	0	27%	15	0	155%
		計	58	0	29%	16	0	70%	618	0	62%	115	0	75%
ン	12cmCD	邦	5,277	22	89%	3,972	14	89%	33,032	23	113%	24,869	15	111%
		洋	35	0	112%	31	0	150%	211	0	77%	155	0	71%
		計	5,312	22	89%	4,003	14	89%	33,244	23	112%	25,024	15	111%
ル	小計	邦	5,327	23	87%	3,985	14	89%	33,612	24	111%	24,969	15	111%
		洋	43	0	91%	34	0	153%	249	0	60%	170	0	75%
		計	5,370	23	87%	4,019	15	89%	33,861	24	111%	25,139	15	111%
12cmCD アルバム	邦	11,552	49	80%	15,766	57	80%	66,496	47	100%	95,641	57	105%	
	洋	6,067	26	71%	7,266	26	78%	38,519	27	104%	42,748	26	93%	
	計	17,619	75	77%	23,031	83	80%	105,016	74	102%	138,389	83	101%	
CD 合計	邦	16,880	71	82%	19,751	72	82%	100,108	70	104%	120,610	72	106%	
	洋	6,110	26	71%	7,300	26	79%	38,769	27	103%	42,918	26	93%	
	計	22,989	97	79%	27,051	98	81%	138,877	97	104%	163,528	98	102%	
アナログ ディスク	邦	12	0	145%	11	0	155%	78	0	71%	94	0	70%	
	洋	4	0	50%	6	0	57%	41	0	146%	59	0	163%	
	計	16	0	98%	18	0	96%	119	0	86%	154	0	89%	
カセット テープ	邦	615	3	93%	523	2	90%	3,585	3	93%	2,925	2	91%	
	洋	1	0	-	0	0	-	4	0	26%	3	0	18%	
	計	616	3	93%	524	2	90%	3,589	3	92%	2,927	2	90%	
その他	邦	8	0	39%	14	0	54%	73	0	43%	123	0	53%	
	洋	9	0	59%	17	0	57%	68	0	68%	127	0	66%	
	計	17	0	48%	30	0	56%	142	0	52%	251	0	59%	
合計	邦	17,515	74	83%	20,299	73	82%	103,844	73	103%	123,752	74	106%	
	洋	6,123	26	71%	7,323	27	79%	38,882	27	103%	43,108	26	93%	
	計	23,638	100	79%	27,622	100	81%	142,726	100	103%	166,860	100	102%	

### ● 音楽ビデオ

			6月実績						2006年(1月~6月)累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	邦	3,126	88	149%	3,879	84	120%	20,615	88	158%	22,530	84	121%	
	洋	372	10	66%	649	14	64%	2,296	10	97%	3,719	14	99%	
	計	3,499	99	132%	4,529	98	107%	22,911	98	148%	26,249	98	117%	
テープ・LDその他		49	1	84%	72	2	79%	390	2	86%	575	2	77%	
合計	邦	3,175	89	147%	3,951	86	119%	20,997	90	155%	23,094	86	119%	
	洋	373	11	66%	650	14	64%	2,303	10	97%	3,730	14	99%	
	計	3,547	100	131%	4,601	100	106%	23,301	100	147%	26,823	100	116%	

### ● 音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

	6月実績						2006年(1月~6月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	23,638	87	79%	27,622	86	81%	142,726	86	103%	166,860	86	102%
音楽ビデオ	3,547	13	131%	4,601	14	106%	23,301	14	147%	26,823	14	116%
合計	27,185	100	83%	32,223	100	84%	166,027	100	108%	193,683	100	104%

### ● ビデオ(含音楽ビデオ)

	6月実績						2006年(1月~6月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	7,833	98	53%	15,499	98	91%	51,178	98	89%	84,896	98	107%
テープ・LDその他	135	2	45%	282	2	39%	886	2	51%	1,886	2	35%
合計	7,967	100	53%	15,781	100	89%	52,064	100	88%	86,782	100	102%

### ● オーディオ/ビデオ合計

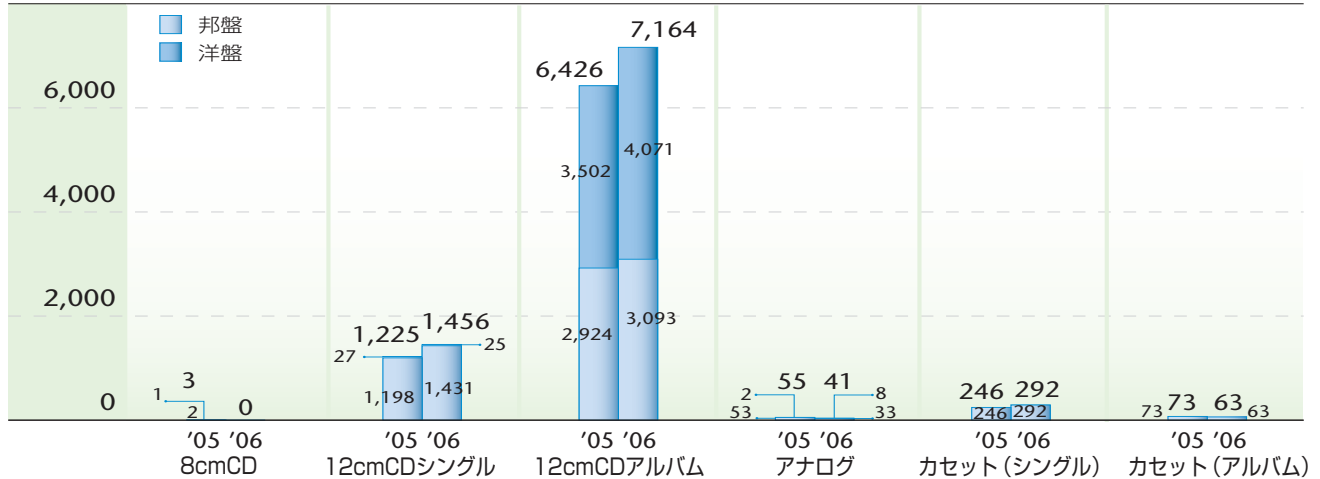
	6月実績						2006年(1月~6月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	23,638	75	79%	27,622	64	81%	142,726	73	103%	166,860	66	102%
ビデオ	7,967	25	53%	15,781	36	89%	52,064	27	88%	86,782	34	102%
合計	31,605	100	70%	43,403	100	84%	194,790	100	99%	253,642	100	102%

備考 1. 上記実績は、会員会社「42社」の集計である。当会員会社が受託した非会員会社からの販売委託分を含む。  
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。  
※オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

## 2006年1月～6月新譜タイトル数

2006年(平成18年)上半期(1-6月)発売の新譜タイトル数がまとまりました。オーディオは、邦盤・洋盤共に好調で、合計で前年同期比112%と2桁の伸びとなり、9,000タイトルに達しました。また、音楽ビデオについては、DVDのタイトル数が音楽ビデオ全体の約97%を占めるまでに至りました。

### ● オーディオレコード新譜数 タイトル



### ● オーディオレコードジャンル別新譜数

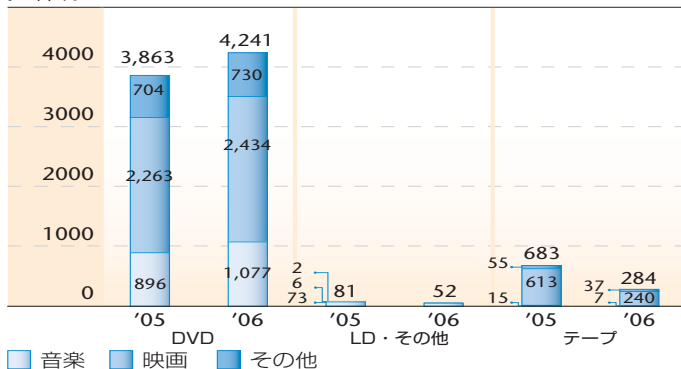
単位:タイトル

ジャンル	8cmCD	12cmCD			アナログ	カセット		合計	
		シングル	アルバム	計		シングル	アルバム		
邦盤	演歌	0	350	114	464	0	266	44	774
	ポップス・歌謡曲	0	470	623	1,093	7	15	1	1,116
	ニューミュージック	0	429	1,237	1,666	25	0	5	1,696
	小計	0	1,249	1,974	3,223	32	281	50	3,586
	軽音楽	0	11	220	231	0	0	0	231
	民謡・純邦楽	0	9	50	59	0	10	9	78
	教育・教材・童謡・童話	0	5	130	135	0	0	0	135
	アニメーション	0	102	253	355	1	1	1	358
	クラシック	0	0	77	77	0	0	0	77
	カラオケ	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	55	389	444	0	0	3	447	
邦盤計	0 (-)	1,431 (119%)	3,093 (106%)	4,524 (110%)	33 (62%)	292 (119%)	63 (86%)	4,912 (109%)	
洋盤	ロック・ディスコ	0	25	1,732	1,757	0	0	0	1,757
	ジャズ・フュージョン	0	0	911	911	7	0	0	918
	ポピュラーソング	0	0	379	379	1	0	0	380
	映画音楽	0	0	92	92	0	0	0	92
	その他	0	0	51	51	0	0	0	51
	小計	0	25	3,165	3,190	8	0	0	3,198
	クラシック	0	0	899	899	0	0	0	899
	その他	0	0	7	7	0	0	0	7
	洋盤計	0 (-)	25 (93%)	4,071 (116%)	4,096 (116%)	8 (400%)	0 (-)	0 (-)	4,104 (116%)
	合計	0 (-)	1,456 (119%)	7,164 (111%)	8,620 (113%)	41 (75%)	292 (119%)	63 (86%)	9,016 (112%)

( )内は対前年比

### ● ビデオ新譜数

タイトル



### ● ビデオジャンル別新譜数

単位:タイトル

ジャンル	ディスク		テープ	合計	
	DVD	LD・その他			
音楽	邦楽	459	5	7	471
	洋楽	538	0	0	538
	カラオケ	80	47	0	127
映画	邦画	612	0	33	645
	洋画	584	0	115	699
	アニメ	1,238	0	92	1,330
その他	730	0	37	767	
合計	4,241 (110%)	52 (64%)	284 (42%)	4,577 (99%)	

( )内は対前年比

# Gold Album +... 認定

2006年6月度

2006年発売の新譜では、トリプル・プラチナ1作品、ダブル・プラチナ4作品が認定されました。

## ■ 邦楽

### アルバム

● ミリオン				
NAMELESS WORLD	コブクロ	2005.12.21	WJ	
● トリプル・プラチナ				
ULTRA BLUE	宇多田ヒカル	2006.06.14	TO	
● ダブル・プラチナ				
Confidence	HY	2006.04.12	HY	
MONSTER	B'z	2006.06.28	BM	
● プラチナ				
Home	アンジェラ・アキ	2006.06.14	ES	
● ゴールド				
RED~Love is all around~	COLOR	2005.09.21	AVT	
ザンサイアン	Cocco	2006.06.21	V	
1000000000000	T.M.Revolution	2006.06.07	ES	
演歌名曲コレクション6〜一剣	氷川きよし	2006.06.28	C	
グッデイ!!	V6	2006.06.14	AVT	
ADDRESS	山崎まさよし	2006.06.28	UM	

### シングル

● ダブル・プラチナ			
純恋歌	湘南乃風	2006.03.08	TF
抱いてセニョリータ	山下智久	2006.05.31	JE
● プラチナ			
フレンチジャー	大塚 愛	2006.04.12	AVT
∞SAKAおばちゃんROCK/大阪ロマネスク	関ジャニ∞	2006.06.07	TE
BLUE BIRD	浜崎あゆみ	2006.06.21	AVT
SPLASH!	B'z	2006.06.07	BM
● ゴールド			
The Rainbow Star	ENDLICHERI☆ENDLICHERI	2006.06.28	JE
マタアイマショウ	SEAMO	2006.04.05	BMG
バイマメロディー	平井 堅	2006.06.14	DF
七色の明日~brand new beat~/Your Color	BoA	2006.04.05	AVT
ハネウマライダー	ボルノグラフィティ	2006.06.28	SE
Good-bye days	YUI for 雨音 薫	2006.06.14	SR

### ビデオ

● ゴールド			
2004 嵐!いざっ、Now Tour!!	嵐	2005.01.01	JA
DREAM BOYS	KAT-TUN・関ジャニ∞	2006.06.28	JA

## ■ 洋楽

### アルバム

● ダブル・プラチナ			
コンフィッションズ・オン・ア・ダンスフロア	マドンナ	2005.11.16	WJ
● ゴールド			
シング・ア・ロング・アンド・ララバイズ・フォー・ザ・フィルム:キュリアス・ジョージ	ジャック・ジョンソン&フレンズ	2006.02.01	UM
ワッツ・アップ〜ヒップホップ・グレイテスト・ヒッツ4	VARIOUS	2006.04.19	UM
Beautiful Songs ~ココロデ キク ウタ~	VARIOUS	2006.05.24	WJ



NAMELESS WORLD/コブクロ



ULTRA BLUE/宇多田ヒカル



MONSTER/B'z



純恋歌/湘南乃風



抱いてセニョリータ/山下智久



コンフィッションズ・オン・ア・ダンスフロア/マドンナ

※AI:ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ/AVT:エイベックス・エンタテインメント/BG:ビーグラムレコーズ/BM:バーミリオンレコード/BMG:BMG JAPAN/C:コロムビアミュージックエンタテインメント/CR:日本クラウン/DF:デフスターレコーズ/DRM:ドリーミュージック/EP:アップフロントワークス(セティマレーベル)/ES:EPICレコードジャパン/FK:ファイブズエンタテインメント/FL:フォーライフミュージックエンタテイメント/GN:ジュネオン エンタテインメント/GZ:ギザ/HSE:Hostess Entertainment Unlimited/HY:東屋慶名建設/JA:ジェイ・ストーム/JE:ジャニーズ・エンタテイメント/JK:ユナイテッド・アジアエンターテイメント/K:キングレコード/KS:キューンレコード/MC:ミュージチャー・コミュニケーションズ/MH:ソニー・ミュージックダイレクト/ON:ビーヴィジョン/ON:フライエイド・レコーズ/PC:ポニーキャニオン/PK:ピッコロタウン/PZ:ピザ・オブ・デス・レコーズ/PP:パームビーチ/RR:ロードランナー・ジャパン/SE:エスエムイーレコーズ/SI:ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル/SM:ミュージックレイン/SN:SENHA & CO./SR:ソニー・ミュージックレコーズ/SV:アニプレックス/TE:テイチクエンタテインメント/TF:トイズファクトリー/TJC:徳間ジャパンコミュニケーションズ/TO:東芝EMI/UM:ユニバーサルミュージック/V:ビクターエンタテインメント/WJ:ワーナーミュージック・ジャパン/XL:アンリミテッドグループ/YR:アール・アンド・シー

※ダブル・プラチナ(50万枚)以上の認定を受けた作品のジャケット写真を紹介します。

■■■■■ 協会からのお知らせ ■■■■■

IFPI (国際レコード産業連盟) は、「海賊版レポート 2006」を発表しました。当機関誌では次号で同レポートのダイジェストをご紹介します予定です。



古紙配合率100%再生紙を使用しています

THE RECORD No.561 2006年8月号  
社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 佐藤 修  
編集人 田辺 攻  
発行日 2006年8月10日  
発行 社団法人 日本レコード協会  
〒107-0061 東京都港区北青山2-12-16 北青山吉川ビル11F  
TEL. 03-6406-0510(代) FAX. 03-6406-0520(代)  
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフビーアイ・コミュニケーションズ

編集後記

今号ではファイル交換ソフト利用実態調査について特集しました。ブロードバンド化も進み、ファイル交換ソフトの種類も増え、止める人もいれば始める人もいて、なかなか利用者が減らないのが現状です。ネット違法対策は、手間もコストのかかる取り組みです。しかし、アーティストや音楽を愛し、対価を払って音楽を楽しんでくれる多くの音楽ファンのためにも、我々づくり手側の責務として、違法対策に取り組んでいく必要があります。(S)